

令和5年1月19日

佐賀県知事

山口 祥義 様

要 望 書

— 佐賀県立大学の誘致について —

平素より唐津市の発展のため格別のご高配を賜り、深く感謝申し上げます。

高等教育機関の充実が長年にわたる課題であった唐津・東松浦地域では、平成2年8月に当地域の市町村長等で構成する「佐賀県立大学設置促進期成会」が発足し、要望活動を行ってまいりました。

そのような中、佐賀県におかれましては、平成11年9月に「佐賀県大学等高等教育機関導入構想検討委員会」が設置され、当該委員会の提言として、大学等が未設置の地域で検討されるべきであり、その設置地域の優先順位としては、北部地域が最も優位性の高い地域とされていたところでございます。

県立大学の設置は、若者が地元の大学に進学できるだけでなく、域外からの人口流入や学卒者の地元定着率の向上、さらには、教職員や学生との接点から生まれる社会的・経済的な活性化効果が期待されます。

特に本市の令和2年の国勢調査における生産年齢人口は、平成17年と比べ21.2%の減となっており、佐賀県全体の減少率15.6%と比べるとその減少率が大きく、人口減少に悩む本市にとりましては、このたび知事が提案されている県立大学の設立構想は、大変望ましい機会ととらえております。

つきましては、当地域の状況をご賢察のうえ、是非、唐津市へ県立大学を設置していただきますようお願い申し上げます。

唐津市

唐津市長 峰 達 郎